

ペットを増やすことの問題点

1. 個体ごとの健康管理が難しくなります。

頭数が増えると、個体ごとに健康状態や必要とする食事が異なるため、管理の手間が増えます。多数の動物を飼う際の手間は「1頭分の手間×頭数分」より少なくなると考えがちですが、そうではありません。適正に管理するために必要となる手間、技術、費用は頭数が増えると跳ね上がります。

また、相性が悪いとケンカによって怪我をすることも多くなり、伝染性の病気や寄生虫が蔓延するリスクも高まります。

多数の動物を動物病院に一度に連れて行くことは難しく、疥癬症（皮膚病）が蔓延し、飼い主にも感染したことで全ての動物を手放した事例もあります。

2. 近隣住民に迷惑がかかる可能性があります。

犬の場合、1頭が鳴くと他の犬も同調して鳴き始めることが多いため、対策が必要となりますし、しつけも難しくなります。また、多数の猫を屋外飼養している場合、糞尿等により近隣住民に迷惑がかかります。苦情がもとで人間関係が崩れて地域から孤立してしまったり、最終的に引っ越しを余儀なくされた事例もあります。



ペットを増やさないためにすべきこと

必ず不妊去勢手術を実施しましょう。

予定外の繁殖を防ぎ、生殖器系の病気を予防できます。また、飼養する動物が同性同士であっても無用な争いやストレスを防ぐことができます。

多頭飼養によって問題を抱えている方の大半は、予期せぬ妊娠や出産が発端であり、産まれてきた犬猫の不妊去勢手術費用が高額であることに躊躇している間に、更に増えて深刻な状況となったものです。



ペットが増えて管理出来なくなった場合の相談先

最寄りの健康福祉センター（保健所）に御相談ください。

多頭飼養の届出

県では、多頭飼養者に対して適切な飼養管理に関する助言等をするため、「飼養する犬猫が合わせて10頭以上」となった飼い主に「多頭飼養の届出」を義務づけています。（詳しくは管轄する健康福祉センター（保健所）に御相談ください。）